

# 一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2010年7月、8月合併号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

## 平成22年度定時総会が開催されました

平成22年度の定時総会が7月22日(木)東京工業高等専門学校第8棟MM教室で開催されました。総会では平成21年度事業報告及び決算、平成22年度事業計画及び予算が承認されました。

役員につきましては、片岡正巳理事が都合により退任され、代わって川崎拓也理事が就任されました。他の役員は平成21年度就任された方々が継続して務められます。

平成21年度に本会は法人化されましたが、会則の一部が旧技術懇談会のままになっていましたので、現状に即した変更が承認されました。

## 感謝状の贈呈式を行いました

総会に続き、本会の活動に特別の功績のあった2名の会員に感謝状及び記念品の贈呈が行われました。本会の前身である東京工業高等専門学校科学技術研究センター技術懇談会は平成5年7月に設立されました。阿部昭三氏は同会の設立発起人代表を務められるとともに、設立から10年間会長として本会をリードされました。鈴木富士雄氏も旧技術懇談会の設立発起人を務められるとともに、同会設立後16年の長きにわたって理事としてご尽力いただきました。平成15年から4年間は副会長として会の発展に尽くされました。

長年にわたるお二人のご功績に対し、感謝状と記念品を大田会長より贈呈しました。



表彰式風景

## 特別講演会を開催しました

恒例の特別講演会を表彰式に続き開催しました。

本年4月に東京高専校長に就任された古屋一仁先生は『東京高専における産学連携の取組』と題して講演されました。高専は創造的、実践的技術者養成機関として有意な人材の育成を使命として

いること、そのためには地域企業との連携推進や地域の理科教育への貢献が求められていることを述べられました。さらに、現在東京高専が実施している本会会員企業との共同研究や新インターシップ等の具体的事例を挙げながら、本会との連携協力関係の重要性について強調されました。

(株)船井総合研究所環境ビジネスコンサルティンググループ部長の菊池功先生は『中小企業は環境ビジネスで儲けなさい!』という演題で講演されました。近年にわかに脚光を浴び始めた環境ビジネスについて、その現状と将来性を分かりやすくお話いただきました。環境ビジネスの対象分野、例えば、廃棄物処理&リサイクル、水、土壌、エコグッズ等々のライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、移行期、安定期)の視点による解析、環境コストの内訳はエネルギーコスト、廃棄物コスト、環境維持コストの3つであること、環境コスト削減ビジネスの種類、中小企業による成功事例等を示されました。異業種から環境ビジネスに新規参入するポイントとして、自社資産(顧客、仕入先・調達先、関連企業、商品)の延長線上で考えること、自社資産の関連で必ずネタは落ちている、新規ビジネス成功のポイントは既存ビジネスの充実等を挙げられました。環境ビジネスにおいて儲かることは、環境負荷を低減することでもあるという言葉が印象的でした。



東京高専校長 古屋一仁先生



(株)船井総合研究所部長 菊池功先生

## 懇親会

特別講演会終了後、5月に改修工事が終了した第1棟3階会議室に場所を移して懇親会を実施しました。懇親会では、今回表彰を受けた阿部前会長ならびに鈴木前副会長からご挨拶を頂きました。



阿部前会長



鈴木前副会長

### 平成22年度の役員は次の通りです

会長	大田吉彦	(株)ニレコ
副会長	安藤 磐	ユーキャン(株)
	三谷知世	東京高専
理事	伊藤國吉	合同会社微細加工研究所
	岡林徹行	(株)エリオニクス
	岡村明彦	(株)スリーボンド
	川崎拓也	(株)ティーディーワイ
	西野義一	(株)山武
	濱田和幸	システム・インストルメンツ(株)
	峯尾一幸	(株)エクセル
	福田勝巳	東京高専
	大塚友彦	東京高専
	加藤格	東京高専
	佐々木桂一	東京高専
監事	山田親義	市町村土木計画(有)

### 東京高専専攻科生が海外インターンシップに参加します

東京高専では国際化を教育における大きな柱として位置づけています。そのために本年3月には教員チームを中国、台湾、マレーシア、タイに派遣し、海外企業における学生のインターンシップについて調査を行ってきました。その成果をもとに、専攻科

1年生12名と4年生1名の計13名が、8月から9月の夏休み期間中に、約1ヶ月間中国、マレーシア、タイの日系企業でインターンシップを行うことになりました。このような多人数の学生を一度に海外インターンシップに送るのは本校としても初めての経験です。今回の参加学生は、本校では前例のない海外企業でのインターンシップに積極的に手を挙げてくれました。インターンシップ終了後には、報告会でその成果が発表されます。海外経験を積んだ学生達がキャンパスに大なる刺激を与えてくれるものと期待されます。また、卒業後はグローバルエンジニアとして日本の技術を支えてくれるものと思います。

### チャレンジウォークに参加しませんか

チャレンジウォークは、歩く楽しさを知るとともに、長距離歩行を通して日常生活では体験できない何かを体得することを目的として、17年前から毎年開催されています。学生、教職員、卒業生のみならず技術懇談会会員の方々にもご参加いただけます。いざという時の、安全な徒歩帰宅訓練を兼ねて、長距離歩行体験に挑戦してみませんか。

今年度は、10月9日(土)に実施します。東京高専から湘南・茅ヶ崎サザンビーチまでの44kmを歩きます。昨年度のゴール地点は柳島海岸でしたが、今年度はサザンビーチちがさきに変更になりました。総距離は長くなりましたが、観光名所の烏帽子岩や江ノ島にも近くなり、ゴールしたときの達成感は格別のものがあります。

参加申込方法は、東京高専のホームページ(<http://www.tokyo-ct.ac.jp>)から『第17回チャレンジウォーク実施要領』のファイルにアクセスしてください。

締切は8月27日(金)ですが、応募人数次第で早期打ち切りもございます。

みなさまのご参加、お待ちしております。

### 柵田の風を同封します

東京高専の広報誌である『柵田の風』を同封します。学期初めの学校の様子を感じてください。

### 事務局より

技術懇談会では会員の皆様からのご要望を受けて、様々な活動を行っていく予定です。是非ご意見をお寄せ下さい。mitani@tokyo-ct.ac.jp

今年は例年になく猛暑が続いています。皆さんご自愛下さい。

